



Vol.44 春号
発行
富山市民国際交流協会
広報委員会

〒930-0002 富山市新富町一丁目2-3
CiCビル3F 富山市国際交流センター内
TEL (076) 444-0642 FAX (076) 444-0643
発行責任者 広報委員会委員長 岡田昌代



輝きの街「サーファーズパラダイス」 ゴールドコースト



オペラ・ハウス シドニー



豪日協会と交流会 シドニー



豪日協会マックリー・トック会長と小川団長



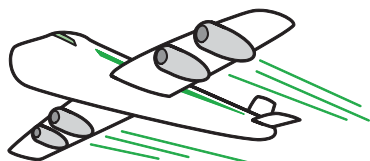
会話がはずんだ交流会

海外研修

友好と親善
オーストラリア訪問

2004年2月7日～12日

ボランティアで育てよう 富山市民国際交流協会



海外研修 オーストラリア

2004.2.7(土)～2.12(木)

2004年 富山市民国際交流協会の海外研修は、日本の冬に夏のオーストラリアを選びました。

雪にうもれた北陸道を7時間余をかけて名古屋空港へバスで出かけました。

紫外線が日本の5倍もあるオーストラリアへ向かいました。

国際交流のための研修ということで、日系の人々や現地の人々との交流を、日本語で楽しく行うことができ、心から楽しい交流会を行うことができました。

富山と市町村合併を行う予定の大沢野町とオーストラリア ウェリントンが姉妹都市関係を締結しており、今後、富山とオーストラリアの結びつきも強化されていくことを期待しています。

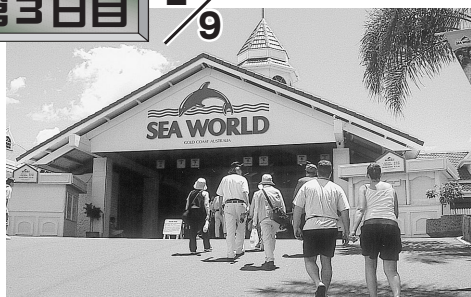
長くつづき、実績を積み重ねていく国際交流の一つ一つの礎石に、各人がなれるよう努力していきたいものです。

ともかく、全員、無事で楽しく、元気で旅行できたことを、嬉しく思います。

団長 小川 弘

第1日目 2/7 出発式

第3日目 2/9

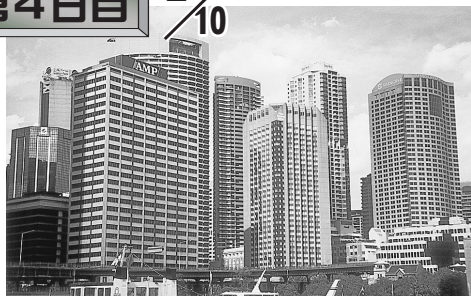


シーワールド ゴールドコースト



カランビン自然動物園 ゴールドコースト

第4日目 2/10



市街地 シドニー

第5日目 2/11



ハーバーブリッジ シドニー

第6日目 2/12 富山着

第2日目 2/8



記念写真 ゴールドコースト

オーストラリア海外研修報告 ～ 自然が豊か 自然を楽しむ ～

2月7日、出発日朝から大雪、無事名古屋空港まで行けるのか心配でした。小川弘富山市民国際交流協会副会長を団長とする一行17名は、草の根の交流から友好と親善を深めることを目的にオーストラリアへ出発しました。最初の訪問地ゴールドコーストは、気温25℃、快晴、一挙に夏空。青い空、青い海、まぶしい太陽、美しい海岸そして白い砂、全てが感動でした。輝きの街「サーファーズパラダイス」、通りにはカフェテラスが並びお洒落な雰囲気にあふれる都会的なリゾートタウンです。

ゴールドコースト滞在2日目は、緑豊かなカランビン自然動物園でコアラ、カンガルー及びカラフルな鳥ロリキード等珍しい動物との触れ合いを体験し、また海洋公園シーワールドでは水上スキーやイルカの曲芸などを楽しみました。

次の訪問地シドニーは、ニュー・サウス・ウェールズ州の州都人口400万人の大都市。早速、オペラ・ハウスやハーバー・ブリッジ等を見学。

市内中心地は、近代的なビルの中にも都市のオアシス、ハイドパーク公園が市民や観光客に憩いの場を提供しています。

帰国日の前日、夕方6時から当協会と豪日協会との交流会が開催され、参加者24人がお互いの友好と親善を深め有意義な時間を過ごすことができました。

豪日協会の人たちは、会長のマックリー・トックさんを始め皆さん日本語が上手でしたので随分と会話がはずみ、終了したのが9時頃でした。

私たち訪問団も、即席コーラス隊を結成し、日本の童謡「ふるさと」「赤トンボ」を見事なハーモニーで披露し、意気軒昂なところを見せました。

両国の相互理解促進並びに連携が深まることを願わずにはられません。

今回のオーストラリア海外研修での印象は、国土は日本の20倍の広さ、人口は6分の1以下ということと国民性等で一概には比較できませんが、とにかく人々は実にゆったりと時間を気にしない生活を楽しんでいること。また、自然が豊かで人々もそれを大切に保存していることでした。

日本でも近年、環境問題がマスコミ等で盛んに取り上げられていますが、私たち一人一人が常に自然を守るという気持ちを持ち続けることが大切だと今回の旅行を通して感じました。

終わりに、この度の海外研修は天候にも恵まれ、参加者全員が健康で楽しい旅行ができた何よりでした。改めて皆さんのご協力に感謝いたします。

秘書長 場家 英範

「新春国際交流のつどい2004」

2004年 1月10日(土)
CiCビル 5F



開会のあいさつ 乾杯！ 久保田会長

世界の国々から いろいろな新年の迎え方を 紹介していただきました

モンゴル ビヤムバジャルガル モロムジャムツ氏
バトプレブ ジャムバルドルジ氏
(富山県海外技術研修員)

エジプト アブドゥル・ファッター・ガベル氏
(富山大学工学部外国人研究者
日本学術振興会外国人招へい研究者)

チェコ パベル・ムルクス氏
(富山ガラス造形研究所客員助教授)

「あけましておめでとうございます！」会場 みんなが一斉にそれぞれの自国語でお正月の挨拶を大声で交しました。中国、韓国、アメリカ、イギリス、フランス、インド、サウジアラビア、ブラジル等々…。

「新春国際交流のつどい2004」は、留学生・研修生や富山在住の20数ヵ国100人を超える外国の人たちと会員らと168人の大勢が参加して神保正実行委員長の開会宣言で始まりました。日本舞踊や中国の京劇を楽しんだり、また、抽選会ではあちこちから歓声があがって賑やかに、そして、最後は全員でステージにいっぱいの人が上がって♪スタンダードナンバー「上を向いて歩こう」を合唱して終わりました。

今回の交流会は、「より交流が広がり、友情が深まるように」と新たな工夫をしてみました。参加者たちには、誘い合って来た家族や友だちと離れて、それぞれ生れた月毎に12のテーブルの席に着いてもらい、半ば強制的に？少しでも多くの出会いと異文化の人との交流を楽しんで「友だちの輪が大きくなりますように！」とそんな思いを込めて催しました。

テーブル毎に競ったゲームの盛り上がりは、実行委員たちが準備の大変さを忘れさせてくれる程のものでした。

これを機会に、さらに大きな交流が生まれることを期待したいものです。



体験コーナー「綿菓子」



「豆つまみゲーム」



「風船ゲーム」



民謡踊り「越中おわら」



みんなで歌おう「上を向いて歩こう」



京劇「変面」

外国人のための日常生活勉強会

講師 轡田 民子氏



2月19日 当センター

日本の男性と結婚し、日本に住んで1年未満の主婦ら5人（中国出身4人、タイ出身1人）が参加しました。中国出身の4人は日本語がほとんど理解出来ないため、当協会相談員の銭さんに通訳をしてもらいました。

「日本と自国との生活習慣の違いはたくさんある」というような質問がありました。

今回の勉強会は、参加者だけでなく、ボランティア委員会にとっても、今後の活動の勉強になりました。

日本の食事の作り方が知りたい。
みそ汁の作り方、ご飯の炊き方など。

食事の作法（お箸の置き方など）が違うので知りたい。

お風呂に入るのに順番があるのですか。

お風呂や部屋の掃除の仕方をお姑さんにどう言うように聞けばいいですか。

朝、起きるのが遅いと注意された。
何時に起きたらよいのか。

ご主人の会社の人との話し方。
あいさつの仕方は。



英語スピーチと討論の会（ESD）

1月特別例会

テーマ 「米国に進出した日系企業の苦労話」

スピーカー 中川 修一氏（北陸銀行副部長、前ニューヨーク駐在員事務所長）

中川氏は、1999年から2002年までの3年間、北陸銀行のニューヨーク駐在員事務所長として多くの日系企業トップや、本社派遣社員の方々と面談、日系企業や派遣社員が現地で直面する問題点や苦労話を、数多く見聞してこられました。

今回は同氏ご自身の体験を交えて、

- (1) 日系企業の命運を握る米国人マネージャー
生産現場や営業の管理をさせる場合、「文化・習慣・価値観が容易に理解できる米国人に管理させるのが一番」と多くの経営者は米人社員管理のコツを語っている。しかし米国人は自己アピールがうまく、有能な米国人マネージャーを短期間で見抜くのは難しい。
- (2) 地元社員の採用・解雇にまつわる苦労
 - ①平均して7回転職するといわれている米国では、有能な人材を確保するのに、日系企業では苦労されており、当時米国の失業率は低く、「労働の質が高い理由で進出する州を決めたのに、質が二の次になってしまった」と嘆いている経営者も少なくなかった。
 - ②訴訟社会の米国では、解雇を言い渡す場合、事前に弁護士と打ち合わせし、解雇手続きや書面など整備し、訴訟に備えておくなど十分な注意が必要。
- (3) 子弟の教育の問題
 - ①米国には日本人学校が2校しかなく、多くの子弟は米国の公立学校へ通学し、土曜日に日本語補習校に通っている。補習校は遠隔地にあることが多く、親は子供を数時間かけて送迎し、土曜日がそれであつてしまう親も多い。
 - ②多くの親は、米国に行くときは子供が現地校になじむか心配し、米国に慣れてくると、日本へ帰国した時に、日本の授業についていけるか、同級生



に疎外されないかが心配なようでした。
など、興味深いお話がありました。

さらに、世界貿易センタービル近くの事務所から地下鉄へ向かう途中に遭遇された「9・11」の生々しい事実も聞かせていただきました。

貴重な数々の話と参加者との質疑応答により相互理解が深まり大変有意義でした。

これらの講話・座談・討論などすべて英語で行なわれました。



国際教養委員会

そば打ち体験



3月4日・11日
CiC 5 F いきいきKAN

小麦粉2割、そば粉8割の「二八そば」を作りました。

ます寿司作りを体験



3月12日
CiC 5 F いきいきKAN

食べごろは翌日だそうです。待ちどおしいナァ！

ボランティア委員会

日本伝統文化の紹介



「折り紙教室 紙風船作り」

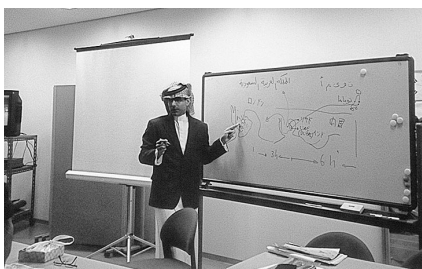
講師
飯田 光男氏
(富山シニアタレント協議会)

2月1日
当センター

講師から新聞のチラシ等をもって風船の折り方を習いました。参加者たちは、折り方やのり付けなどに苦心しながら「従来の紙風船」と「新型の紙風船」を作り上げました。

only oneの紙風船をうれしそうに手にしながら、いろいろ質問したり「富山の紙風船」に関心を高めたようでした。

もっと知ろう世界の街「サウジアラビア」



講師
アリー・アルアキール氏
(富山医大研究生)

3月7日
当センター

アリーさんは、民族衣装で出演し解説板にもアラビア文字で書く等、会場はすっかりアラビアムードとなりました。

プロジェクターを使い参加者たちは画面を見ながら街のようすや生活のようすを案内してもらいました。

文化交流委員会

国際交流 TCAカレッジ

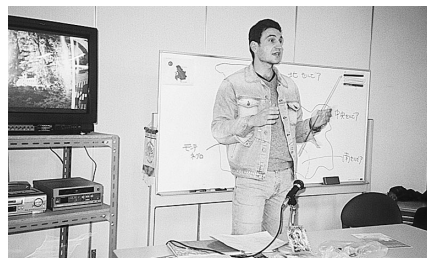
「外国から子どもたち」

～子どもたちみんなに未来を～

2003年12月末で富山県の外国人登録者数は12,088人となっております。増加する外国人住民、その子どもたちが直面しているさまざまな問題について講演やワークショップを通して考えました。10人ぐらいの4つのグループに分かれて「0歳から小学生」「小学生」「中学生」「高校生」の4つの年代別で問題点についてグループ毎に考えた後、みんなで意見交換を行ないました。

総務企画委員会

多国言語文化交流クラス



「セルビア・ モンテネグロ& セルビア語」

講師
スロボダン バブコウ氏
(スポーツ国際交流員 水球コーチ)

2月7日
当センター

ユーゴスラビア連邦共和国が2003年に国名変更により「セルビア・モンテネグロ」となりました。幾多の内戦、紛争の歴史の中でスロボダンさん自身も18歳の時にクロアチア内戦に参戦した経験があり、平和を願う思いが大きく、スポーツを通してその思いを広げていきたいことを私たちにもさわやかに伝えられました。

そして、南セルビアに位置する「コソヴォ」は、日本人の「京都」のように、セルビア人の心であることを話されました。



「アイルランド& アイルランド語」

講師
ジョンヌ・オーエンズ氏
(A.L.T. 芝園・堀川中学校、
柳町小学校)

3月6日
当センター

アイルランドの歴史、政治、経済(ユーロ)、音楽、スポーツなどについてプレゼンテーションソフトを使い通訳を通して、ていねいに紹介されました。参加者からは真剣に質問も出て、ケルトの宗教観やあまり変化のないマイルドな気候等について特に興味を持たれていたようです。

また、ジェンヌさんから用意して下さったティーとクッキーを味わいCDから流れる「アイルランド音楽」も楽しみました。

国際教養委員会



講師
中山 美幸氏
(「とやま外国籍子ども支援
ネットワーク」代表)

3月13日
当センター

お知らせ

お申し込み・お問合せは当協会まで
TEL 076(444)0642 FAX 076(444)0643

行 事	日 時	と ころ	担当委員会	会 費
多国言語文化交流クラス(トルコ&トルコ語)	4月3日(土) 13:30~15:00	当センター	国際教養	200円
お花見交流会	4月6日(火) 10:30~13:00	城址公園松川べり	ボランティア	300円
平成16年度富山市民国際交流協会総会 記念講演会 懇親会	5月15日(土) 14:00 15:00 16:30	CiC 5F多目的ホール エクセルホテル東急 (懇親会)	合 同	無 料 3,500円
日帰り交流会	5月23日(日) 10:00~15:00	古 洞 の 森	文化交流	日本人1,000円 外国人 500円
多国言語文化交流クラス(チェコ&チェコ語)	6月5日(土) 13:30~15:00	当センター	国際教養	200円
浴衣着付け教室	6月18日(金) 10:30~12:00	当センター	ボランティア	無 料
フラワーアレンジメント	6月20日(日) 13:30~15:30	星井町公民館	文化交流	無 料

平成16年度

富山市民国際交流協会総会

と き 5月15日(土) 14:00

ところ CiCビル 5F 多目的ホール

・総 会

・記念講演

講 師 榎井 縁氏

(財)とよなか国際交流協会 事業課長

テーマ 『外国籍の子どもたちの現状と課題』

ー私たちができることー

・交流レセプション 16:30

エクセルホテル東急

「リコモonte」

参加会費 3,500円

※多くのみなさんの出席をお待ちしております。

平成16年度講座開講

国際教養委員会

講座クラス名	研修実施 日・時
1. 英語通訳・ガイド実践クラス	毎月第4土曜日 10:30~12:00
2. 国際交流のための英語クラス	毎月第3土曜日 10:00~12:00
3. 英語によるスピーチと討論の会(E.S.D.)	毎月第2水曜日 18:30~20:00
4. 国際教養サロンクラブ(英語国際文化談話)	毎月第4月曜日 18:30~20:00
5. 日本文化英語交流クラス	毎月第4土曜日 13:00~15:00
6. 日本語ボランティア養成講座(春クラス)	第1,2,3土曜日 10:30~12:00 (4~9月)
7. 日本語ボランティア養成講座(秋クラス)	第1,3木曜日 10:30~12:00 (10~3月)
8. 中国語入門クラスA	毎月第1土曜日 10:00~12:00
9. 中国語入門クラスB	毎月第2土曜日 10:00~12:00
10. 中国語初級クラス	毎月第3土曜日 13:30~15:30
11. 中国語中級クラス	毎月第4土曜日 10:00~12:00
12. ロシア語入門会話クラス	毎月第2土曜日 13:00~15:00
13. 多国言語文化交流クラス	毎月第1土曜日 13:30~15:00

受講者募集!

研修場所 当センター

講 座	実施時期および日時	受 講 料 (年 額)
日 本 語 講 座 2クラス(入門・初級)	毎週火曜日 19:00~20:30 4/13(火)より3月まで全30回	6,000円
中 国 語 (中級)	毎週金曜日 18:30~20:00 5/21(金)より3月まで全30回	6,000円
ハ ン グ ル (入門)	毎週金曜日 18:30~20:00 5/21(金)より3月まで全30回	6,000円
ポルトガル語 (入門)	毎週月曜日 18:30~20:00 5/17(月)より3月まで全30回	6,000円

富山市民国際交流協会 ホームページ・Eメールアドレス

ホームページ <http://www.tca-toyama.jp>
E メール info@tca-toyama.jp

日本語・英語・中国語・ハンガルの4か国語で、イベントから生活情報までを掲載しております。
ぜひ、アクセスしてみてください!

編集後記

「こんばんは!」と声をかけても、ちょっとはにかんでニヤッとしてうつむく。何回か会った後に「こんばんは!」「コンバンハ!」照れながらやっと答えてくれた。当協会へ毎週水・金曜日の夜に日本語のレッスンに来ていたF君とC君の兄弟は、日系人の両親の仕事の都合で家族でパラグアイから来たそうです。私達ともだちにならないうちからお菓子を食べて話しかけたりもできるようになりました。弟のC君は、小学生で比較的早く打撃けることができました。中学生のF君は、「ことば」や「習慣」の違いに戸惑いながら学校に通い、授業が分からなくて友達もなかなか出来ず、さみしい日々を送っていたようで日本語のレッスンにも休みがちでした。そんな彼らは、日本語ボランティアの皆さんの厚情に支えられて、数学や英語の補習やサッカーチームへの参加等とお世話をしてもらって、地域社会の一員として少しずつ生活も落ち着いていきました。そして、中学校の卒業が近づいた頃、F君は「いろいろな事情があって高校へは行かない」と、ちょっとさみしそうに言いました。

いま、外国人住民を取り巻く諸問題には「制度の壁」「ことばの壁」「こころの壁」など、さまざまな問題が絡み合っております。来日の目的も「出稼ぎ」から「定住」そして「永住者」へと変化する中、子ども達の置かれている環境はどのような現状となっているのでしょうか。

先日、国際交流 TCAカレッジ「外国からの子どもたち」に参加して身近な富山の現状を聞き、みんなで考えました。

これからの日本社会の担い手にもなり得るこれら外国籍の子ども達へ理解を深め環境を整えて、そして、より多くの人達に支えられながら日本社会の一員として成長した彼らが、私たちと一緒に多文化共生の社会を作っていくことを願っています。

広報委員長 岡田昌代